

2021年8月24日

広島県病院薬剤師会

会長 松尾 裕彰 様

広島市域薬剤師会

ポリファーマシー対策事業実行委員会委員長

栗原 正亮

ポリファーマシー対策事業におけるトレーシングレポート《広島県版》

および当委員会作成のトレーシングレポート《広島県版》別添資料の使用について

残暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は大変お世話になっております。また、今年で4年目を迎えるポリファーマシー対策事業におきましても、平素より格別のご配慮を頂き、重ねて御礼申し上げます。

本年度は事業対象者を広島市内在住の65歳以上かつ6剤以上の薬剤を2週間以上処方された方(44000人に通知を送る予定)としており、事業対象者を拡大しております。しかしながら、過去の実績では、通知を保険薬局に持参された方(約1000人)のうち、疑義照会やトレーシングレポートにより処方医に情報提供や処方提案を行ったケースは10%に満たない結果となっております。そこで、当委員会では保険薬局が、より積極的にポリファーマシーの問題に取り組むための補助的ツールとして、御会のトレーシングレポート《広島県版》に添付する形での運用を前提に、トレーシングレポート別添資料を作成しました。

広島市健康福祉局より、2021年9月から随時、事業対象者のもとへ通知「服薬情報のお知らせ」が届く予定となっております。つきましては、保険薬局より、本事業に起因したポリファーマシーに関連するトレーシングレポート《広島県版》及び当委員会作成の別添資料が届くかと思っておりますので、その際には是非ともご協力の程、よろしく願い申し上げます。

問合せ先：広島市域薬剤師会事務局 082-506-1255

《本資料は既存のトレーシングレポートに付随する別添資料となります。》

トレーシングレポート別紙資料 Ver.1

《広島市域薬剤師会 ポリファーマシー対策事業実行委員会作成フォーマット》

この度、当該患者さまが広島市健康福祉局、広島市医師会、安佐医師会、安芸地区医師会、広島市域薬剤師会（広島市薬剤師会、安佐薬剤師会、安芸薬剤師会、広島佐伯薬剤師会）が合同で行う事業「ポリファーマシー対策事業」において、対象者 ※1 へ送付している「服薬情報のお知らせ」を当薬局に持参されました。以下の該当する項目があり、情報提供をさせていただきます。次回診察時の参考にしていただければ幸いです。

- 高齢者慎重投与薬 ※2 が継続して処方されているもの
- 緊急性を要しないが、作用機序・効果において、重複しているもの・併用に問題のあるもの
- 緊急性を要しない副作用が疑われるもの
- 症状が軽快もしくは改善しているが、継続して処方されているもの
- 服薬状況に問題のあるもの
- その他、情報提供を行う必要性があると認めるもの

「服薬情報のお知らせ」内の患者さま向けアンケートでは、当該患者さまの意向として、以下の項目に☑があります。

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1 薬をできれば減らしたい | <input type="checkbox"/> 5 薬を減らしたくない |
| <input type="checkbox"/> 2 家に不要に残っている薬がある | <input type="checkbox"/> 6 薬の副作用が気になる |
| <input type="checkbox"/> 3 薬の重複が気になる | <input type="checkbox"/> 7 薬の効果があるか気になる |
| <input type="checkbox"/> 4 薬の飲み合わせが気になる | <input type="checkbox"/> 8 ジェネリック医薬品にしたい、相談したい |
| | <input type="checkbox"/> 9 その他() |

《 内容 》

《 現在の処方医薬品 》

医薬品名	薬効分類	医薬品名	薬効分類
1.		8.	
2.		9.	
3.		10.	
4.		11.	
5.		12.	
6.		13.	
7.		14.	

※1) 複数の医療機関から月 14 日以上の内服薬が 6 種類以上処方されている方

※2) 日本老年医学会 「高齢者の安全な薬物療法ガイドラインにおける注意薬剤」